



MARUI-Plugin

サポートコミュニティ

MARUI_Recorderコマンド

レコーダーはVRシーンを画像シーケンスとして記録することを可能にする内部ツールです。
MARUI_Set - キャプチャとは異なるコマンドを使用すると、任意の視点からVRシーンをレコードできます。
ウェブカメラ画像をスチームすることもでき、MARUIとのMR（複合現実）ビデオを作成することができます。

パラメータ

-windowwidth (-ww) <int>

表示ウィンドウ（デスクトップウィンドウ）の幅（px）を設定します。

-windowheight (-wh) <int>

表示ウィンドウ（デスクトップウィンドウ）の高さ（px）を設定します。

-width (-w) <int>

レンダリング/キャプチャ画像の幅（px）を設定します。

-height (-h) <int>

レンダリング/キャプチャ画像の高さ（px）を設定します。

-focalLengthX (-fx) <float>

レンダリング/キャプチャ画像の幅に相対的な水平方向の焦点距離を設定します。
1.0の値は、焦点距離とレンダリング/キャプチャ画像の幅が等しいことを意味します。

-focalLengthY (-fy) <float>

レンダリング/キャプチャ画像の高さに対する垂直方向の焦点距離を設定します。
1.0の値は、焦点距離とレンダリング/キャプチャ画像の高さが等しくなることを意味します。

-centroidX (-cx) <float>

レンダリング/キャプチャ画像の幅を基準にして、水平イメージの重心（中央）を設定します。
0.5の値は、重心が画像の中心にあることを意味します。

-centroidY (-cy) <float>

レンダリング/キャプチャ画像の高さに対する垂直画像の重心（中央）を設定します。
0.5の値は、重心が画像の中心にあることを意味します。

-path (-p) <string>

イメージシーケンスを書き込むファイルシステムパス。
Cスタイルの "printf" ワイルドカードは、イメージシーケンス番号で置き換えられます。

-framerate (-ps) <float>

キャプチャするフレームレート (fps)。

-position (-pos) <string>

レコーダーの視点をVRデバイスの位置に設定します。
可能な値は、"hmd"、"controller_left"、および "controller_right" です。

-orient (-ort) <string>

レコーダーの視点の向きをVRデバイスに合わせて設定します。
可能な値は、"hmd"、"controller_left"、および "controller_right" です。

-open (-o)

レコーダーウィンドウを開きます。
出力パスが設定されている場合、記録を開始します。

-close (-c)

レコーダーウィンドウを閉じます。
レコーダーが録音中の場合は録音を停止します。

-shading (-shd) <string>

シェーディング設定を表示します。
可能な値は、"wireframe"、"solid"、"textured"、"toggle"

-lighting (-lgh) <string>

照明の表示設定を行います。
可能な値は、"default"、"selected"、"all"、"ambient"、"toggle" です。

-attach (-a) <string>

レコーダービューポイントをVRコントローラーに接続します。
可能な値は、"left"、"right"、"third" / "aux"、または "off" / "none" です。

-vidcapdev (-vcd) <int> <int>

レコーダー用のビデオキャプチャデバイスを有効にする